

木造住宅の耐震診断事業

耐震診断の追加募集を開始しました

【対象となる木造住宅】

- ①昭和56年5月31日以前に着工された1戸建ての木造住宅(枠組壁工法、丸太組構法、大臣などの特別な認定を得た工法のもの)は対象外
- ②階数が2階以下で、延べ床面積が500平方メートル以下のもの
- ③次の用途の住宅▶専用住宅(共同住宅および長屋住宅は対象外)▶併用住宅(延べ床面積の過半の部分が、住宅の用途に供されているもの)

【受付期間など】

平成29年1月31日(火)までに建築指導課(市役所本館9階)へ(先着順。予算が無くなり次第終了。過去に診断補助を受けている木造住宅は対象外)
 ※耐震診断全募集件数=620件。6月末時点で394件受け付け済み
 ※補助対象該当の有無を確認してください(事前相談を受け付けます)

■木造住宅耐震診断事業(派遣制度)

対象者	対象となる住宅の所有者
制度の概要	「愛媛県建築士会木造住宅耐震診断技術者派遣名簿」に登録された耐震診断技術者を派遣し、耐震診断を行う
住民負担額	評価手数料の3,000円または9,720円(評価機関による)

■木造住宅耐震診断事業(補助制度)

対象者	対象となる住宅の所有者
対象となる耐震診断	「愛媛県木造住宅耐震診断事務所」の登録を受けた建築士事務所が、「愛媛県木造住宅耐震診断マニュアル」に基づき実施する「耐震診断」
補助金額	補助対象経費の3分の1+2万円、限度額4万円(補助対象経費の額以内) ※補助対象経費に消費税および地方消費税の額は除く

■ブロック塀の安全確認を

老朽化したブロック塀は被災などによる倒壊の恐れが高く、倒壊した塀により避難や救助・消防活動を妨げる場合もあります。今一度、ブロック塀の安全点検をしましょう。

問建築指導課 ☎948-6512 ・ ☎934-0640

市有地売却(一般競争入札)

日時・会場 10月11日(火)。市公営企業局(二番町四丁目)1階入札室

内容【入札物件】 所在地=古川西三丁目1101番4▶地目=水道用地(変更可)▶地積(平方メートル)=764▶予定価格(最低売却価格)=5576万円【入札保証金】免除【落札者の決定】予定価格以上の最高価格の有効入札者

対象【入札に参加できない人】 個人および法人以外▶契約を締結する能力を有しない人および破産者など▶市税の滞納がある▶暴力団員による不当な行為の防止などに関する法律に規定する暴力団または警察当局から排除要請がある人



申し込み・問い合わせ 9月16日(金)(必着)。直接または郵送で入札申込書(総経営管理課<企業局庁舎4階>にあり)を〒790-8590二番町四丁目4-6(総経営管理課 ☎998-9823 ・ ☎932-0454へ

道後の新たな観光拠点に (仮称) 椿の湯別館の建設に着手します



鉄入れを行う野志市長

(仮称) 椿の湯別館の建設に向けて7月9日、起工式が開催され、関係者約70人が安全祈願などを行いました。起工式で野志市長は「これから100年先まで輝き続ける道後の宝となり、本市活性化の起爆剤となることを期待している」と述べました。

この施設は、聖徳太子や齊明天皇などが来浴した伝説にちなみ、飛鳥時代をイメージした湯屋を再現。大浴場と露天風呂を設けるほか、特別浴室として本館にある皇室専用浴室の又新殿も再現し、湯帳を着た入浴体験ができます。内装は「新たな温泉文化を発信する拠点」をテーマに、愛媛の伝統工芸などと新しいデザインを融合させるなど、道後温泉ならではの「おもてなしの心」を感じ取れる施設を目指します。

平成29年10月のえひめ国体開催までに開業し、既存の椿の湯と中庭を含めた施設全体は同年末に完成する予定です。



完成予想図



消火協力者を表彰

6月15日に柳原で発生した住宅火災に対し、初期消火や通報などで早期鎮火に貢献したとして7月12日、同町の川畑栄一郎さんと加藤信子さんに感謝状を贈呈しました。

川畑さんは「火災現場に遭遇したのは2度目。とにかく消さないといけないという思いで体が自然に動いていた」と現場の様子を話しました。また加藤さんは「怖い気持ちもあったが、『放っておけない』と思って動いた。消火の役に立てたことをうれしく思う」と語りました。

岡本中央消防署長は「2人の勇気ある行動に心から敬意を表したい。今回の事例を本市の防災に役立てていきたい」と感謝しました。

問(備)中央消防署 ☎9269277
 ☎922222 ・ ☎934015

伊予銀行からサイクルスタンド5基が寄贈されました



増加するサイクルリストの利便性を高めようと7月15日、(株)伊予銀行からサイクルスタンド5基が寄贈されました。同行の永井代表取締役専務は「道後温泉に自転車で訪れる観光客が増えている中で、観光振興や自転車の利便性向上のお役に立てれば」と話しました。寄贈を受けた野志市長は「利便性向上のために大切にしたい」と語りました。

サイクルスタンドは道後温泉本館と子規記念博物館で利用できます。

問子規記念博物館 ☎931555
 ☎934333

平成28年上半年期 火災・救急統計

火災件数62件(前年比4件減)
 約2・9日に1件の割合で発生したことになります。

【出火原因】「たばこ」が11件(17・7%)、「こんろ」が10件(16・1%)、「放火」が6件(9・7%)の順となり、この3種で全体の約44%を占めます。また、「放火」と「放火の疑い」を合わせると10件(16・1%)です。

【火災による死傷者】死者は5人(前年比2人増)、負傷者は12人(同2人増)です。

「たばこの吸殻は水につけて捨てる」、「寝たばこをしない」ようにしましょう。住宅用火災警報器の設置もお願いします。

救急出場1万2283件(前年比370件増)

搬送人員は1万1325人(前年比216人増)で、1日平均67・5件、約21分20秒に1回の割合で出場、46人に1人が搬送されたことになりました。

【事故種別】「急病」が77件、「一般負傷」が163件、「交通事故」が133件0件の順となり、この3種別だけで全体の約86・4%を占めています。

救急車や救急医療は限りある資源です。適正な利用をお願いします。

問火災(備)予防課 ☎9269163、救急(備)防課 ☎9269227
 ☎9269188

